



Advocate

HSK

さつき
皐月号

NO.106 2009.5.10号

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号446号
 発行/2009年5月10日
 編集者/石澤 利巳
 住所/〒063-0812
 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションMOMOI F
 特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ
 TEL 011-633-6666 FAX 011-615-4132
 H P <http://npolife.net/>
 発行/北海道障害者団体定期刊行物協会
 定 価/200円



～日本の就労支援を問い直す！ 札幌フォーラム～

講演会 「働きたい」を応援する

講 師／(株)ナイス代表取締役 富田一幸さん



4月11日（土）札幌市西区民センターにて開催された講演会の報告をアドボケイト卯月号に続き今月号も特集として掲載いたします。働きたい気持ちをもっているのに、様々な要因によって就労が困難な人たちのための仕事づくりや就労支援を進めていくビジネスとしての「社会的企業」（ソーシャルファーム）のことなどライフ全体にとって大変勉強になる内容でした。アドボケ編集部に講演会の感想が寄せられましたので、掲載いたします。

たねや 島 明子

『～日本の就労支援を問い直す！ 札幌フォーラム第1弾！ ～講演会「働きたい」を応援する』が4月11日、西区民センターにて行われ、200名を超える参加者は富田一幸さんの講演に魅了されました。

講師の富田さんを札幌にお招きしたきっかけは、昨年の9月20日・21日に大阪府箕面市にて行われた共同連全国大会でシンポジウム「ソーシャルインクルージョンと社会的事業所づくり」のシンポジストとして富田一幸さん（株式会社ナイス代表取締役）が発言されていた内容に当法人スタッフ一同衝撃を受けたことがきっかけでした。当法人から富田さんに「是非とも札幌

で講演会をしていただけませんか？」という話をしたところ快く許可をいただくことができ、今日に至りました。講演会の前夜にも当法人にて富田さんとともに勉強会が行われました。勉強会の参加者からは「一般就労に向けてずっと不安だった要素を取り除けたのですごくよかった」、「清掃関連の一般就労を目指したくなった」など多くの反響がありました。そんな中、講演会では障がい者の就労支援事業であるエル・チャレンジ、西成地区におけるホームレスの就労支援事業、そして社会的企業として活動するご自身が代表を務める株式会社ナイスの取り組みの3点に的を絞ってお話していただきました。

知的障がい者の雇用支援において、福祉法人や株式会社が協同で事業体となり、大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合（エル・

チャレンジ)を設立します。そこで、大阪府立大型児童施設「ビッグバン」の清掃業務の随意契約を結びます。その後、大阪府の公的施設の清掃業務を受託し、「施設なき授産」として知的障がい者の民間企業での雇用促進のための実践的訓練の場と位置づけ、一般就労への雇用拡大を行っています。

公共事業発注時に、効率化だけを判断材料にするのではなく、社会的価値として障がい者雇用を評価項目に入れ「行政の福祉化」の視点での「総合評価一般競争入札制度」や「指定管理者制度」を実現させているのです。

エル・チャレンジの主な就労支援ジャンルは、就労への動機づけを目的とする短期の「就労体験」、1年間の就労訓練の後に一般企業等への就職をめざす「就労支援」、一般企業での雇用、定着を支援する「雇用」の三つからなり、「就労支援」に重点をおいて運営しているそうです。訓練生は、まず技能講習会で清掃の基本技術や職場でのマナーを勉強し、その後、実際の現場で支援スタッフの指導と支援を受けながら、最低1年間の清掃訓練を受けます。その他就労体験(短期体験型訓練)もあり、定期清掃やトイレ清掃、除草作業など、1日から1週間程度の体験コースです。この就労体験で働く喜びと自信を得た多くの障がい者が通年型訓練に参加しているそうです。エル・チャレンジではバックアップ体制にも力を入れており、2カ月に1回、各現場の支援スタッフと各組合員就労支援担当者が訓練現場にてケース会議を行います。訓練生の就労・通勤状況や達成度を報告します。

課題や問題点を整理し、事例検討や情報交換を行います。現場によって、作業時間、作業場所、使用道具、などが多種にわたるので、エル・チャレンジの清掃方法の確認や、声かけの確認事(スタッフが変わっても、同じ声かけ、道具の使い方、方法を合わせておく)を話し合います。また、スタッフのスキルアップ向上のための研修会、企業などさまざまな機関の方を講師として招き、意見交換を行っているそうです。

富田さんは日本一大きな同和地区と寄せ場がある大阪市西成地区に、株式会社ナイス(西成下町まちづくり会社)を設立します。人口の6人に1人(約25,000人)が生活保護受給者です。西成地区に投下される600億円の生活保護費がこの街を蝕んでいるのです。

「福祉もビジネスになる」、「社会保障では街はつukれない」、NPOの社会的課題と企業のもっている力をジョイントさせ、社会的価値を高めて協働した街づくりを行っているのです。「公園で寝ている人から公園で働く人へ」をスローガンに、釜ヶ崎のホームレスや日雇い労働者の就労支援を目的に花屋さんをはじめ、高齢者や障がい者を悪徳リフォーム業者から守り、安心して相談できる合資会社西成リフォームセンターを建設会社とともに設立するなど、様々なビジネスを展開しています。公園管理の指定管理者となり、「人が優しくなれる公園」を目指し、地域の学校の子どもたちと、花づくりや管理を競いあい、あらゆるシステムにインクルージョンを取り入れています。

このような富田さんの講演を聞き、今までの働かなければならないという価値観から、働きたいと思える仕事場をつくりだし、街づくりに活かしていくという発想の転換にはただただ驚かされました。本来あたり前なことも気づけなかった自分をみつめなおすいい機会となりました。貴重な時間をありがとうございました。

講演会感想

きばりや 織本 亜哉子

4月11日に就労支援を問い直す札幌フォーラム～「働きたい」を応援する講演会がありました。大阪で知的障がい者が働く応援をしている(株)ナイスの富田一幸さんと呼んで講演をしてもらいました。大阪のエル・チャレンジでは、働く意欲は働くことから出てくる。病院のトイレ清掃、草取りなど、今まで9年間で300人の知的障がい者が働いているようです。先日、働いている様子のDVDを見て、私には清掃をとていねいにできるかなあ、ふとん引きもまっすぐにできるかなあと思い知らされました。

できないことではなく、できることを探して一生懸命やることは誰でもがんばってやればできることがあるということ。地域の人と一緒に働いてみたり、働きたいを一生懸命やる障がい者だけでなく、就職を見つけるのに困っている人の支援までしている。私はこの講演を聞いて誰でも一生懸命やれば何でもできると思いました。

私もこれからも一生懸命仕事をがんばってやっていきたいと思います。

きばりや 濱中 孝仁

大阪の社会的企業家、富田一幸さんのいろいろな話を聞いて、エル・チャレンジと「社会的企業」に、ついて一緒にみんなで話して、たくさんの方が来て勉強になった。富田一幸さんの4人でマイクで話を聞いて、意見をいろいろと頑張りたいことが楽しいです。エル・チャレンジのDVDで病院で働く人・ご飯をいれる人を嬉しく見ました。

きばりや 岡田 悟

障がい者の支援という枠を超えて、他ジャンルの事業を行い多くの人の支援を行っている富田さんの報告はとても刺激的な内容で、一つ一つの言葉に対し考えさせられるものがありました。

特に障がい者雇用を進める事業体が入札に参加し仕事を獲得できるよう、大阪府に提案し実現させてきた行動力は私たちのような若い世代も参考にしていかなければならない部分だと感じました。

また、福祉に対し儲かるからやる事業ではなく、

必要だからやらなければならない事業であるという言葉にハッとさせられた参加者も少なくないのではないかと思います。実際私もその一人です。福祉は福祉の中で成立してしまうことが多い現状、だからこそ、必要なことと今できることのマッチングを私たちが考えていければと思います。

ひだまり 藤井 孝雄

4月10日（金）にたねやにて学習会がありました。

大阪で働く障がい者の様子を上映して、そのあとに富田さんによるトークがあって数人の質疑応答があり学習会がおわりました。

翌日、4月11日（土）に西区民センターで働きたいを応援する講演会がありました。

ひだまりの販売の方と同時進行で行いました。

講演会の後に一時休憩をとって、再開後にシンポジウムがありました。

富田さんに激励の言葉をのべて講演会はなにごともなく無事におわりました。

講演会

に行きませんか？

いま 現在こそ、デンマークに学ぶ社会福祉

～共有・共生の社会を目指して～

日時：平成21年5月21日(木) 18:00～受付

会場：札幌エルプラザ3階ホール

札幌市北区北8条西3丁目

呼びかけ文より転載

支援の現場は、「障害者自立支援法」施行以後とても厳しい状況におかれています。

現在こそ私たちは原点に立ち返り、支援者としての立脚点と方向を明確にしなくてはならないと思います。今回はバンクミケルセン記念財団の理事長である千葉忠夫氏をお迎えして、講演と対談を行います。デンマークは『ゆりかご以前から墓場以後まで』というように高福祉の国です。連帯・博愛・共生・共有などをキーワードにして、その福祉社会について学びたいと思います。対談は1994年に伊達市立通勤センター旭寮が第1回バンクミケルセン記念賞を受賞した際の寮長であり、現在太陽の園総合施設長の小林繁市氏にお願いをしています。みなさんふるってご参加ください。

講師：千葉 忠夫 氏

(N.E.バンクミケルセン記念財団理事長)

■講師プロフィール

1941年東京都生まれ。

1967年に福祉の勉強を志し、デンマークへ。

農家で働くなどして語学を習得し、72年オーデンセ大学に入学。74年ソーシャルワーカーの資格取得後、社会福祉活動を始め、日本からの社会福祉研修を受け入れる。83年に不登校生徒施設のボーゲンセ生活学園設立。1997年には日欧文化交流学院がデンマーク政府に認可される。また1991年にノーマライゼーションの提唱者バンク・ミケルセンの遺志をついで、N.E.バンクミケルセン記念財団を設立。同理事長。

参加対象：日中活動支援施設・事業所職員、その他デンマークに関心のある方どなたでも

参加費：1,500円(資料代含む)

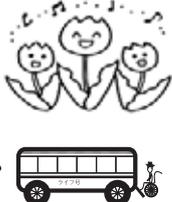
当日会場にてお支払いください

実行委員：実行委員長 この実グループ代表

加藤 孝

実行委員「地域で暮らす」学習会メンバー

共働事業所 もじら



昨年をふりかえって

泉 友香

4月末日に、もじやで2008年度の反省会と2009年度の計画などの会議を行いました。

反省する上で重要になる売上については2007と同じ目標額月300万円が達成できたのは12カ月中4回のみで残りの8回は満たないという結果に終わりました。

反省点は「新しいお客様の開拓ができなかった」ということが、大きかったです。

数件の新規仕事はありましたが、まだまだ手すきの時間ができてしまう状況なので、仕事を取ってこななければならないのに、全体的に営業ができませんでした。

よい動きとしては「札幌市指定業者の申請」「数名ながら印刷工場での実習生受け入れ」ができたことでした。

その他いろいろな意見交換があり、なぜできなかったのか、取り組みかたに問題はないのかなど、改善策を全員で考え今年こそはと意見を出し合いまとまっていきました。意識もまた一段高くなり、よい時間を取れました。

詳しくは総会にてご報告致します。

もじやのお仕事

熊野 宏和

早いもので、もじやで働き始めてから2年半が経ちます。単純にパソコンができるという意気込みだけで、一緒に働くことになりましたが、当時の私は印刷の”い”もわからない状態で、周りにご迷惑をおかけすることも多かったと思います。今では、ある程度の知識が身につき、それなりにお客様とのやりとりもできるようにはなってきたと思っています。それでも自分への甘えなどが出てくる頃なのかも知れませんが、単純なミスや確認忘れなど、仕事をする上では基本的な部分が疎かになっているのではないかな？ 先日1年を振り返ることがあ

り改めて考えさせられました。

私たちの仕事は、印刷業務に関することが主となっていて、制作・編集・印刷・出版・企画など、真っ白な状態から1冊の本を作ることまで受けることが可能です。印刷にも種類があって、名刺やチラシ、ポスター、チケットなど幅広くあります。デザインができればいいというものでもありません。誤解を受けやすいのですが、印刷機はプリンターと違い、デザインさえできれば印刷ができるわけではないのです。印刷機は思うほど万能ではありませんので、幅・高さ・用紙サイズ・写真の加工・網掛けの処理、色の指定、文字校正など、多くの作業を経て、やっと印刷機を通すことができるのです。印刷の仕事は、わかればわかってくるほど奥深いものです。たった一文字でも間違えてしまうと、全ての紙やインクなどが無駄になります。毎回、納品するまではドキドキの連続ですが、無事に終わるとやっぱり嬉しいんです。まだ2年半ですが、そんな仕事を繰り返しながら毎日を過ごしています。

昨今の不況の波は私たちの元へも確実に襲ってきていて、仕事の受注がない日もあります。だからこそ、今の私たちにできることは、お引き受けした仕事の手を抜くことなく、基本にのっとり、まずはお客様に喜んでもらうことが大前提であるべきだと思います。印刷に関しては、私たちはプロであります。この仕事がメインで事業を進めています。

用紙サイズなどで限界はありますが、モノクロでもカラーでも印刷をする機会がありましたら、ぜひ「もじや」に一声かけてみてください。きっとご満足いただける印刷物を提供できると思います。

いろいろあります！

田中 宏典

テープおこし・データ入力（名簿や伝票の入力・管理、住所録作成・管理、各種書類の作成）横断幕印刷・CD/DVDレーベル印刷や、名刺・チラシ・会報・機関誌・封筒・はがき（往復はがき・年賀状）などなどの印刷をしています。製本もしています。

新しくホームページ作成・管理もしています。NPO法人ライフ (<http://npolife.net/>) は、もじやが作成・更新・管理をしています。

TO たね通DAY

共働サービスたねや

063-0812

札幌市西区琴似2条5丁目

マンションMOMO1F

営業時間 9:30~18:00

TEL (011) 614-1871

FAX (011) 614-1873

お電話お待
ちしており
ます!!

たねやの事業内容

たねやではオリジナルローソクや軽作業（チラシなどの折・丁合・帯止めなど）やデータ入力を行っています。いずれも責任を持って承りますので、ご連絡お待ちしております!!

たねやでの主な仕事

鈴木 麻依

たねやでは、いろいろな場所から仕事をもらってきて軽作業をしたり、ときどきローソクの営業とか納品に行ったりしています。もっとたくさん仕事をして稼いでいきたいと思っているので、仕事のご依頼お待ちしております。よろしくお願いします。

ローソク作りの仕事について

笹尾 知弘

今は、におい付きのローソクをつくっています。その時にどのくらいの温度で型にローソクを注ぐのかとかを研究中です。そして完成し売りに出す前、つくった物からにおいがしたときに、どのくらいのアロマオイルをたれば良いのか、においが長続きするかを研究中です。

種育ててみませんか?!

桑原 理佳

今『たねや』に思うこと、たねやの目標は『給料アップ』。折りもきれいになってきたし、スピードも早くなり、急ぎの仕事は『単価アップ』でいただくことも多くなってきました。でも、そんな仕事も毎日ビッチリあるわけではありません。今までの「みんなで取り組める仕事」ばかりでは、なかなか目に見えるアップにはつながりません。

そこで私はこれからのたねやはスタッフ、メンバー、一人一人のスキルをのばし、できる仕

事の種類を増やす事が必要なのでは…と思います。それにより、今までとは違うお仕事がもらえたり…みんなが欲しくなる商品をつくるのができたり…そして、それがみんなの給料につながる。

ただ、スキルをのばすというのは、かんたんではありません。やる気、努力、忍耐が必要…かな? やりとげた時の達成感の前に『もうやだー』ってことがいっぱいあると思います。

でも、みんなの種にはたくさんのいろんな可能性がいっぱいつまっています。ちよいとみんなで自分の種、育ててみませんか?

稼ぎたい!!!

小野寺 貴彦

仕事をたくさんもらって、お金を稼ぎたいのでよろしくお願いします。

★新人紹介★

宮澤 智成

僕は、たねやにはいって、紙を折る作業やローソクの仕事や新聞を線のとおりに合わせて折る仕事をしました。

僕が一番大変だった仕事は、新聞の中にチラシを入れる作業が大変でした。

詩：さよならするために

岡林 満美

さよならするために
生きることは必ず別れがくるもの
だからこそ「愛」や「思いやり」とか人は
そういうものでごまかしたりする
生きるということって決して綺麗なものじゃ
なく悲しいものかもしれない
光り輝く太陽だっていつかは終わりがくる
だから輝いている
さよならするために最後の日まで
僕を育ててくれた人々のために



札幌市障がい者協働事業
共働事業所

きばりや

キ

バラネット



個性豊かなスタッフが共に働いています。

**きばりやの仕事は、
テープ起こし・製本
・ポスティング**

今月は、テープ起こしや住所を書いてあるシールを帯に貼る仕事をしました。また、新聞を折って丁合をし、発送作業を1カ月に2回しています。

先月は町内会の資料の製本で機械で折った紙をピンで強く折る仕事や議案書の製本、地震防災マップのシール貼りの仕事をしました。

きばりやでは随時仕事を受け付けております。いただける仕事を一生懸命にやらせていただきますので、是非よろしく願いいたします。

きばりやスタッフ一同

✿ 仕事した感想を聞いてみました。 ✿

星 悠・石川 和寛

今、きばりやではポスティング・製本・チラシおりの仕事が入っています。夏のポスティングは特にタオルとスポーツドリンクが必要品です。

製本・チラシおりは、もっと上手になりたいです。やっている人を見ながら、おぼえていきたいです。

軽作業・ポスティング・DM発送作業などのご依頼は、

「共働事業所 きばりや」

TEL 011-669-3810 FAX 011-669-3808



Cafe de キバリヤ

Cafe de キバリヤがエルプラザにオープンしてこの5月でめでたく2周年を迎えます。予約や配達もあり常連のお客様も増えてきました。これからも、元気と笑顔をモットーにますます皆様に愛されるカフェを目指していきたく思います。

<お知らせ>

ベーグルパンが仕入れ先の都合により提供できなくなったために、その代わりはないだろうかと探したところ、見つかりました!!

キバリヤで提供しているライ麦パンを作ってくださっている「ぱんのひろば」さんにおいしいロールパンがありました。

ライ麦パンやベーグルの歯ごたえ感が苦手だった年配の方にも喜んでいただけると、自信のロールパンです。

次なる三周年にむけて、心もメニューも心機一転し、みなさまのご来店を心よりお待ちしております。

Cafe de キバリヤ従業員一同

札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ内3階喫茶コーナー

TEL・FAX 011-758-6533

<ちょっと息抜き>

☆「4月のキス」というドラマがあります。

程 乙九

どの春にも愛する恋人の新しい出発点になるきっかけになる内容です。きばりやも「4月のキス」のように新しいはじまりを心いっぱい感じられた月でした。

冬に遠のいていたことが一つ二つ増えていって、大変だったポスティングもいっそう容易になったようです。自動車の冬タイヤも交換して、事務室もすっきり整理して何か良いことが起きるような穏かな日常の変化に期待がふくらみます。みなさんは一日にどのぐらい笑いますか？ 笑いの効果を捜してみると、こんな効果をありそうです。

笑いはお互いを信じ、偏見の壁を崩して、人に楽さを与える。5月も皆に笑わせることがたくさんできるように…。



定休日：毎週日曜日・祝日
 営業時間：お弁当11:30~13:30
 店舗10:30~18:30
 札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F
 TEL: 011-615-4131 FAX: 011-615-4132

コン・ブリオひだまりは、原則として原材料は国産のものを選んで入れています。また週に一回、新鮮な野菜を入れています。何が入るかは毎週変わるので分かりませんが、仕入先との協力ですべて安全な野菜を入れています。その他、出張販売などもやっています。

そしてお弁当の製造販売もしています。こちらの方も原材料が国産のものを選んで入れています。

また、お肉屋さんや魚屋さんも国産のものにこだわっています。

これからも末永くごひいきにお願いします。

ひだまり 石田 程哉

コン・ブリオひだまりの流れ

◆接客販売の裏側！

永田 陽子

月曜日から金曜日まで、出張販売の入っていない時間帯に、ひだまりでは何をしていますか？

商品について話し合っていたり、接客の仕方をみんなで話し合ったりしています。

次にどんな商品を入れるべきか？

どんな商品なら売れるのか…接客については、どういう対応で接したらいいのか…など話し合っています。

また、月に数度、商品の発注に関しても話し合っています。「この商品は以前納品して失敗している」などの体験を聞いて、「今納品したらどうだろうか？」「この取引先からはどういった商品をどの位仕入れたらいいのか？」など、売れる商品を自分たちで決めています。

この1年くらいで接客に対する意識が高まってきていて、「あの人の接客って凄い」と、それぞれでその人の良いところを見習おうという姿勢になってきています。

今後、商品の仕入れはもちろんのこと、もっと商品知識を身につけ、お客様により積極的に説明できるようにしていきたいとひだまり一同思っています。

◆キッチンの1日

小野寺 恵

9:30の朝礼から仕事が始まります。

米とぎ・野菜・お肉・お魚等の下ごしらえをして、ゆでる・いためるなどの調理をし、でき

あがったらお弁当箱を調理台に出して、ご飯はグラムを計り盛りつけします。

盛り付けが終わったら配達をし、戻りしたい昼食をとり、その後弁当箱の回収をして洗います。

2時頃から次の日の下準備・買い物などをし、4:00からキッチンの清掃・消毒をして終了です。

4:30に帰ります。



出張販売先を探しています！

◇出張販売とは？

コン・ブリオひだまり店舗商品の一部を選別して学校などに持って行って簡易店舗を作ってそこで販売を行います。時間は、30分~1時間位です。

◇ルート販売とは？

4・5件の購入仲間を作っていただいて、そのうちの一軒のお宅前にて車の中で販売を行います。

◆こんな場所を探しています

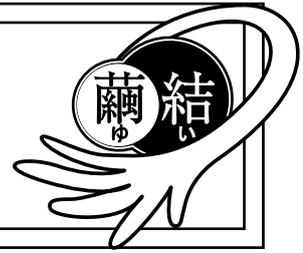
高橋繁広・蜂谷和輝

西区・北区・手稲区・中央区の学校・会社・作業所などで販売や紹介できる場所がありましたら、「コン・ブリオひだまり」までご連絡ください。

※お弁当は琴似周辺に限り、2個以上の注文から配達いたしますので、ご相談ください。

ヘルパー派遣業務・在宅介護支援
ヘルパーステーション

ゆい
繭結



障がい者が施設や自宅に閉じ籠もることなく、社会の中で自分らしく暮らしていくために家事・身体介助・外出介助などのお手伝いをさせていただきます。

自分で自分の生活を律していくために、必要なサポートを私たちがお手伝いいたします。
ご連絡をお待ちしています。

新型インフルエンザの現状

■調べによると

繭結所長 佐々木 泰彦

最近、世間を騒がせている「新型インフルエンザ」の感染の仕組みやワクチンや薬の現状を調べてみると、通常のインフルエンザと共通点が多いが違いもいくつか分かってきたみたいです。通常のインフルエンザと同様、患者の咳やくしゃみのしぶきに含まれるウイルスを吸い込む「飛沫（ひまつ）感染（かんせん）」が主とみられていますが、一般に患者から約2メートル以内の距離にいると感染の恐れがあるといわれているようです。

ウイルスが付着した物に触った手で口や鼻に触れることでウイルスが体内に入り、感染することもあるそうです。感染し、症状が出るまでの潜伏期間は5～7日間ぐらいではないかと言われているみたいです。一方、他人に感染させる恐れがあるのは、症状が出る1日前～発症後7日程度といわれているようです。ウイルスの感染力は強いと言われてますが、重症患者は少ないみたいです。米国患者44人の分析では、96%に高熱（平均39度）あり、咳、のどの痛み、筋肉痛など典型的なインフルエンザの症状が多く報告されています。通常のインフルエンザには珍しい、下痢の症状が約半数の患者にみられていたり、重症化しやすい60歳以上の患者がほとんどいなく、10代の若い世代の患者が感染しているようです。米疾対策センターの最近の報告によると、患者の60%は18歳以下、51歳以上はわずか5%だったそうです。高齢者は過去に似たウイルスに感染していて、何らかの免疫を持っていて、そのため少ないのではとの見か

たもあるみたいです。現時点でははっきりしていないようですが、この新型インフルエンザは、毎年流行しているAソ連型と共通していて、研究によると、通常のインフルエンザワクチンを接種していても結果は期待できないみたいで、新型インフルエンザのワクチンはまだなくて、できるまでに半年程度かかるみたいです。当面は現在通常のインフルエンザに使われているタミフル、リレンザとも、症状がでて、早期につかえば有効みたいです。

繭結でも、利用者宅への訪問活動が中心となるので、職員一同、新型インフルエンザにかからないようにうがい、手洗いを心がけ感染を防ぐ対応をしていきたいと考えています。

みなさんも普段から、しっかりと手洗い、睡眠と栄養をとり健康管理に気をつけていくよう、心がけていきましょう。

ヘルパーさん募集中!!

- 時間 7:00～24:00の間で2～5時間程度、週1～6日の勤務
※時間・日数ご相談下さい。
- 給与 時給800円～1,300円
※研修期間3カ月：時給800円
- 資格 ヘルパー2級以上
※経験不問男女学生・既婚者の方歓迎します。
- 待遇 昇級有・通勤交通費支給・車通勤可
事業 障がい者の生活支援

ヘルパーステーション 繭結 (ゆい)

〒063-0812

札幌市西区琴似2条5丁目マンションモモ1F

TEL 011-623-2505

こだわりの豆腐入荷

消泡剤を使っていない **手作り豆腐** を

いよいよ **5月11日** (月) **より販売!**



地元札幌新川で作られたお豆腐です
お豆腐本来の味がする**素朴な風味**を
一度おためし下さい。

いずれの商品も、お問い合わせはこちらまで
琴似2条3丁目2-37サンハイム1F

TEL: 011-615-4131 **ゆめまり** まで

ライツナツヲ

もめん豆腐、よせ豆腐、こんにやく

各 **130円**

大あげ、厚あげ

小あげ、2枚入り

65円

がんも、3個入り

100円

安心・安全な国産ハチミツ入荷中!

長野県の鈴木養蜂場より
レンゲ蜜・アカシヤ蜜

各450g **1,575円**



ゆず製品で、おなじみの
馬路村の里山より
日本みつばちが集めた
昔ながらの山のみつ

200g **1,850円**



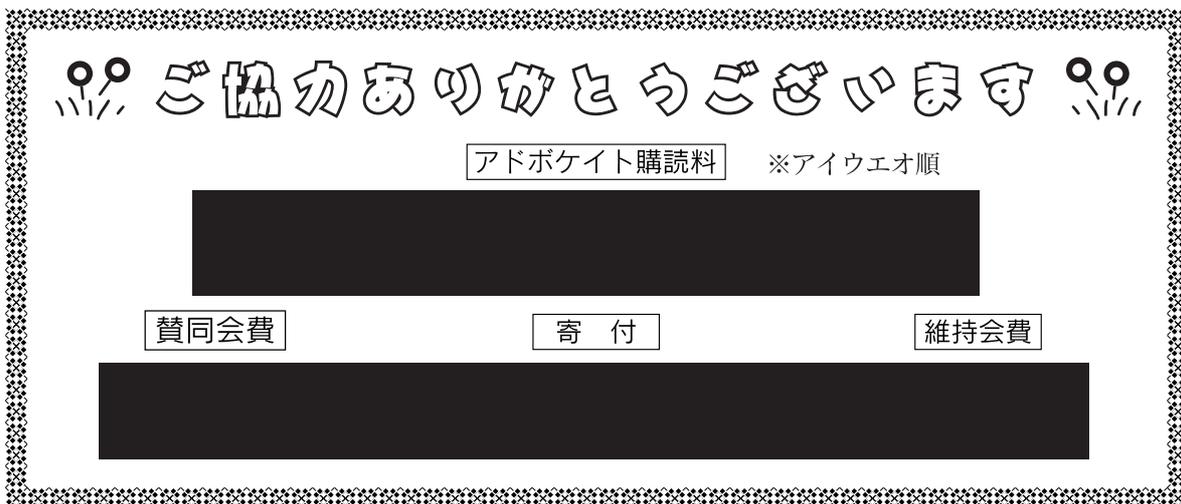
安全なハチミツを
食卓へ

(数量限定です)

キッチン
情報

煮込みハンバーグ・とりのからあげなど、お昼ごはんや
夕食の一品として加えられる一人分程度の少量パック
販売中! 1パック**150円~200円**より
(内容によってかわります)

お総菜あります!



毎月11日のイオン・デーにジャスコ桑園店に設置されている「NPO法人ライフBOX」に黄色のレシートを投函のご協力をお願いいたします!

ジャスコ桑園店（北海道札幌市中央区北8条西14-28）にて、NPO法人ライフのBOXが設置されています。ぜひイエローレシート投函をよろしくお願いいたします。

*毎月11日のイオン・デーには、地域のボランティア団体などの名前と活動内容を書いた投函BOXをお店に置いています。この日は、お客さまがレジ精算時に受け取られた黄色いレシートを応援したい団体の投函BOXへ入れていただくと、お買い上げ金額合計の1%が地域ボランティア団体などに希望する品物及びイオンギフトカードで寄贈されます。

☆幸せの黄色いレシートの流れ（イオンHP参照）

STEP1

毎月11日にお買物をされたお客さまは、精算時にレジで黄色いレシートを受け取ります。

STEP2

投函BOXは応援登録団体別に仕切られ、活動内容が表示されています。お客さまは黄色いレシートや投函カード(*)を、応援したい団体のBOXに投函します。

STEP3

イオンは、団体別にレシート金額を集計し、「合計金額の1%および投函カードによる贈呈額」を、団体の活動に役立てていただきます。
※投函カードは、買い物袋スタンプカードの交換商品の一つ。1枚当たり贈呈額は100円です。



の黄色のレシート

総会のご案内

6月7日(日)13:00からNPO法人ライフの1年の総括である総会があります。ライフ以外の方もぜひご参加ください。

編集後記：今回のアドボケイトはいかがでしたでしょうか？

同封しました郵便振込用紙は、請求ではありません。必要なお使いいただくために同封しておりますので、ご容赦願います。

なお、振込をいただく場合は

- ・維持会費 1口 10,000円（何口でも可）
 - ・賛同会費 1口 3,000円（何口でも可）
 - ・アドボケイト購読費 年会費 2,400円
 - ・共同住居建設資金
 - ・寄付金
- などをご記入くだされば幸いです。

アドボケイト 5月号（第106号）

2009年5月10日発行（毎月10日発行）通巻第446号

HSK通信1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道身体障害者団体定期刊行物協会

細川 久美子

〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

編集人/NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

事務局長 石澤 利巳

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-615-4132

E-mail npolife@beach.ocn.ne.jp

ホームページ <http://npolife.net/>

郵便振替口座 02710-4-63485